



宇都宮商工会議所
会長 築 郁夫

年頭に あたって

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと9月の米国大手証券リーマン・ブラザーズ破綻をきっかけとした金融危機が、輸出の減少、個人消費の低迷、雇用情勢の悪化等、世界の实体经济に翳りを及ぼし、景気後退局面を迎える異常な事態となりました。

また、政局の混迷など、早期の景気対策を期待する地域経済や中小企業にとり、大きな不安要因を抱えた年明けとなりました。こうした中で、当所は会員の皆様の意見を反映して策定した中期事業計画の初年度として、企業の経営力向上、創業・再チャレンジ、事業承継等を支援する「地域力連携

拠点事業」や職業能力形成機会を提供する「ジョブ・カード事業」、女性の起業支援として「女性起業家ネットワーク事業」の展開を図ったほか、当所の「中長期財政計画」の策定をいたしました。

さらに、企業の経営基盤の強化を積極的に支援する経営サポート体制の充実や、中心市街地活性化・観光交流促進の視点から地域産業の振興を図る「ミヤジャズイン」等の開催と、「宮の市」(商業祭)を継続実施して各商店街の魅力向上と商業振興に努めたところであります。

そして、昨年末には緊急対策として事業資金の円滑な調達を図るため年末資金特別相談窓口を開設いたしました。

本年は、未曾有の経済危機に果敢に立ち向かうため、日本商工会議所などの各関係

機関との連携を一層強化し、景気対策のための国政への政策提言を始め、当所中期事業計画に基づく2年目として、引き続き域内中小企業の経営支援や地域と産業の振興、地域雇用の確保等に役員・議員と会員が丸となって取り組んでいく所存であります。

加えて、長年の懸案でありました中心市街地活性化のための「中心市街地活性化協議会」設立への取り組みをはじめ、種々の事業の推進をおして、存在感のある地域総合経済団体となるよう精一杯の努力を傾注してまいりますと存じます。

会員の皆様におかれましては、今後とも倍旧のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして本年が希望と活力に満ち溢れた年になりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



謹賀新年

宇都宮商工会議所
役員議員一同



栃木県知事 福田 富一

新年の ごあいさつ

商工会議所会員の皆様、あけましておめでとうございます。

私は、昨年の知事選挙におきまして、多くの県民の皆様の御支援をいただき、引き続き県政を担わせていただくことになりました。今、改めてその責任の重さを実感いたしますとともに、県内各地でいただいた県民の皆様のおささぐさ「とちぎ」に対する熱い思いや、数々の励ましを心の糧とし、初心に返り県民中心・市町村重視の県政を推進していく決意であります。

さて、我が国は、本格化する少子高齢社会への対応、高度情報社会の進展、さらには地球規模での環境問題など多くの課題に直面しており、これまでの成長を支えてきた社会経済システムからの転換が求められています。

加えて、世界的な金融危機等の影響による景気後退局面の中にあつて、県においては、地域の活力を向上させ、県民が安心して住むことができる施策をいかに展開していくかが喫緊の課題となっており、新たな視点での時宜に即応した県政運営が求められています。

このため、景気対策に万全を期すとともに、地域間格差の是正や地域医療の確保、災害等への対応、商工業・農林業の振興、若年層等の雇用拡大などの課題解決に向けて、昨年9月に策定した「平成21年度政策経営基本方針」による積極的な対応を図り、真に市町村が輝く「とちぎ」づくりを進めて参ります。

また、昨年12月には北関東自動車道の栃木・茨城間が全線開通し、物流はもと

より産業や観光などさまざまな面で広域的な連携・交流を深め、本県活力の向上を図って参りたいと考えております。

一方、県政運営の大きな課題であります財政の健全化に向けて、徹底した事業の選択と集中、民間活力の積極的な活用、総人件費の抑制などに努め、持続可能な財政基盤の確立を図って参ります。

今後とも、私は、皆様と肩を並べ、「無名有力県」から「有名有力県」への転換を図って参りたいと考えておりますので、より一層の御理解と御支援をお願い申し上げます。

年の始めに当たり、私の所信を申し上げますとともに、本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。

年頭所感

宇都宮市長 佐藤 栄一

明けましておめでとうございます。年頭にあたり、皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。

私は、昨年11月の市長選挙におきまして2期目の当選を果たすことができましたが、新年のすがすがしさの中にも、市政を預かる者としての責任の重さをあらためて認識し、本市の未来に向けたまっすぐに果敢に取り組んで行こうと心新たに決意いたしました。

さて、昨年を振り返りますと、1世紀に一度とも言われる米国発の世界的な経済不況や、原油など天然資源価格の乱高下、生活の根幹である「食」を脅かす偽装事件の多発など、将来や日々の生活に対する

不安感が漂い、厳しく不透明と評される近年においてさえ、稀に見る激動の年でありました。

そうした疾風怒涛の時代にあつても、本市は、市民が安全安心な暮らしを送ることができるとともに、夢や希望を叶えることができるまちでなければなりません。また、今後自主性・自立性を保ちながら、発展・繁栄していくまちでなければなりません。私はこれまで、「100年先も活力ある発展が続く持続可能な都市」のみの「確立」を本市のまっすぐりの基本理念に掲げてまいりました。今こそ、本市においては、激変する社会経済情勢にあつても、持続可能な都市となるための仕組みづくりや、

都市構造を構築していくことが必要であります。私は1期目の4年間で、そうした土台づくりに努めてきたところでありますが、今年はその土台を踏まえ、確実に「持続可能な都市」の実現に向け、力強く歩んでいく年としたいと思います。

本市を、北関東の中心都市・将来の州都を見据えた都市としてはもとより、わが国の発展に大きく貢献する都市とするため、これまで以上に知恵と汗を振り絞って市政運営に邁進してまいりますので、皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。